

『嘘の病 盲腸を迷走す』

＝岩倉峡流下能力をめぐる情けない空咳＝

〔‘05・12・6〕

自然愛・環境問題研究所  
総括研究員 浅野 隆彦

《 空咳 その1. 何故岩倉 (57.4km) 地点に当てはめて、H-Q 曲線図を出すのか?! 》

私と「伊賀・水と緑の会」メンバー数名は、木津川上流河川事務所を訪れ、第3回目の「川上ダム問題集中討論」を行った。(11/11) 調査課職員達と私の議論で、私の追及に於ける一つが、上の質問であった。岩倉 (57.4 km) 地点は<参考資料 A-2>にあるように、岩倉観測所第1断面の直近にある。しかし、<参考資料 A>と<参考資料 B-2>をよく見て頂きたい。縮尺が違うため紛らわしいが、若干断面が違う。

そして何よりも「観測流量表」が記録しているのは、第1断面から第2断面に、浮子（フロート）が到達する時間を測定し、その平均時間（3から5個又は7個迄の浮子が投入される）を出し、第1断面と第2断面の平均河積に掛け合せて流量を出しているのである。つまり、これ迄の岩倉観測所の観測データは、岩倉 (57.4km) 地点とは関係ないのである。

『しかし、第1断面の近くだから流量は同じじゃないですか。』調査課長の言である。『違う。本当のところ、岩倉 (57.4km) 地点での「計画高水位流量」にすりかえてしまえば、31cm も低いレベルで河積がせばまる。それが狙いではないか。』

『はい。その通りです。』とは言わなかったが、第1断面と第2断面の平均河積に平均流速を掛け合わせて流量を出していることは認めざるを得なかったのである。その両方共、計画高水位は、DL136.9m であった。

《 空咳 その2. <参考資料 A>にあるように、平成6年以降の水位流量だけでもって H-Q を外挿するのか?! (単に7ポイント) 》

この事の不当性は2度ほど意見書で述べているが、以前から調査課は『平成6年から河道（横断面）が変わっており、それ迄の観測データが合わなくなったので・・・。』と言いつつがましく言って来た。本当のところは、平成5年不等流計算値、その他都合の悪い14ポイントの観測値を見せたくなかったのであるが。

9月30日の第2回集中討論の時、<参考資料 B>「岩倉第1断面重ね合せ図」を提示して来た。私は入手していた昭和48年以降の「観測流量表」に付けられた「横断面図（測量図）」と照合して見た。

<参考資料 B-2>、<参考資料 B-3>を合せ見、<参考資料 B>を確認して頂きたい。

とにかく、意図的にと疑うほど描線が間違っているのであり、この後に続く、第 2 断面の重ね合せ図<参考資料 C>も相当量違っている。本当に単なる間違いでこれほどの違いが出るのであろうか。結論から言えば第 1 断面、第 2 断面とも河積は殆んど変わってはず、むしろ平成 14 年の方が最底河床が下り、水深が増えることで若干、流量増なのではないかと思うほどである。調査課の言い訳も破綻した。昭和 49 年以降平成 2 年迄の 1,000 m<sup>3</sup>/s あたりからの 14 ポイントを加え 21 ポイントある観測実績も加え検討すべきである。

《 空咳 その 3. タワケ事か、計画高水位 (HWL) の更なるゴマカシ?! 》

<参考資料 D>にある H-A テーブル表は、上記のような重ね合せ図の違いがある下で、信用できるものではないことは確かである。「指記号」の先が更に重大なタワケ事である。

実際に第 1 断面は<参考資料 B-2><参考資料 D-3>、第 2 断面は<参考資料 D-2><参考資料 C-2>を見ても、それぞれの年代で、H.W.L、計画高水位として零点高さ (DL126.400) +10.5、つまり 136.9m の標高を計画高水位として表示している。これは両方共昭和 62 年度から現在迄続けられている。

我々は「岩倉峡の流下能力」が幾らであるかを求めている。しかるに、つまらぬ「整備計画上」という奇弁でもって“最小流下能力”へ導こうというのか。

これまで河川管理者は再々『(堤防高一余裕高)でもって流下能力を考えている。』と述べてきた。岩倉峡入口上流での「氾濫シュミレーション」でも然りである。「余裕高」とは、「河川管理施設等構造令」の中で定められ、計画高水流量によって高さが決まっている。計画高水流量が 5,000 m<sup>3</sup>/s 未満である岩倉峡では、余裕高は 1.2m となっている。<参考資料 B-2>は第 1 断面の横断面図で、低い右岸堤防で DL138.6m ある。計画高水位は DL136.9m であるから、(138.6-136.9-1.2=0.5) 即ち、現在の高水位より 50cm アップした所、DL137.4m を「無害流量」流下能力の最大水位として計算に用いなければならない。

第 2 断面<参考資料 D-2>に於ては、尚かつ両岸共 5~6m も現計画高水位を上回っているので、(142.6-136.9-1.2=4.5=右岸) となり、DL141.4m でもって「無害流量」の最大水位と言えるが、これは 50m 上流の第 1 断面が DL137.4m であるから同程度にしなければ仕方がない。このように「無害流量」としての「流下能力」と「最大流下能力」とを計算しなければならない。「最大流下能力」とは、「越流現象が生じない限界の流量」と定義されている。

以上のように、「岩倉峡疎通量」は、『何も訳がわからん』整備計画上?の無理矢理に作った計画高水位に従うことなどなく、昭和 48 年以降の全観測流量データと、「無害流量の最大水位」を尊重して導かねばならない。

更に言いたいことは、<参考資料 E>に示したように、57.8km から 57.2km の間、約 630m

の河床掘窄だけで流下能力が約 600 m<sup>3</sup>/s 増えると考えられる事である。これは言われている「岩倉峡の部分開削」で先ず最小限の改変であろう。

《 空咳その 4. 既存資料が整理・調整中の為、時間がかかっています?! 》

川上ダム地点の基本高水量が異常に大きいので、検討したいからと〈参考資料 F-2〉の内容通りのものを、10月27日から木津川上流河川事務所に求めていたが、11月18日になっても『本局の方をお願いしているのですが・・・』とラチがあかないのでシビレを切り、11月21日近畿地方整備局の河川計画課長を訪ねた。しかるに、12月6日時点に於て、資料提出がない。1ヶ月と10日もかけ、何を調整しているのか、私には様々の憶測が起ってくる。何かカイザン?をしているのか、インペイ?でも考えているのではないか。それほど此処約3ヶ年、木津川上流河川事務所とのツキアイは不信・不透明極まるものであった。幾つかの事例は、幾つかの流域委員会への意見書で発表しているが、特に、都合の悪い資料はなかなか出さない事は共通して多い。

「基本高水量」の謎は、〈参考資料 G〉を見て頂くと判るように、元々「工事実施基本計画」を決める時代（昭和40～46年代）に於て、経済的都市膨張に対応して水資源ダム計画の急激な拡大を背景に、一部に、河川整備の理想主義的技術過信的傾向を孕んで生まれたもので、今様に言えば、「バーチャル」そのもので、何時迄経っても完遂不能の「基本高水量」という名の魔物なのである。『九州地方整備局 平成12年度河川整備検討会『今後の河川整備の進め方』会議速記録等より作成されたこの資料は、単に僅かを紹介しただけであるが、『幾らでも大きいものを考えて・・・』『従来の基本高水については、従来の工実の数字をそのまま簡単に踏襲できるという状況ではないというのがわかっている中で、どう処理していくのかというところが今後の議論だと思います。』などと九州地整の幹部や専門家（河川工学学者）などが語っている。

私の主張と言えば『白紙に戻し、改めて流域住民、住民団体、環境団体、街づくり協議会などを含めた「河川整備基本方針審議会」の中で決めていくべきである。』に尽きる。中央で地方流域の河川整備基本方針を決めてはならない。

最後に、昭和40年24号台風洪水（6524）引き伸ばし倍率1.56倍として、洪水氾濫計算書がようやくようやく到着した。

地点47（岩倉峡入口＝岩倉観測所）4,068 m<sup>3</sup>/s、島ヶ原残流域から80.6 m<sup>3</sup>/s、島ヶ原観測所地点で4,149 m<sup>3</sup>/sと最大流量が出ている。

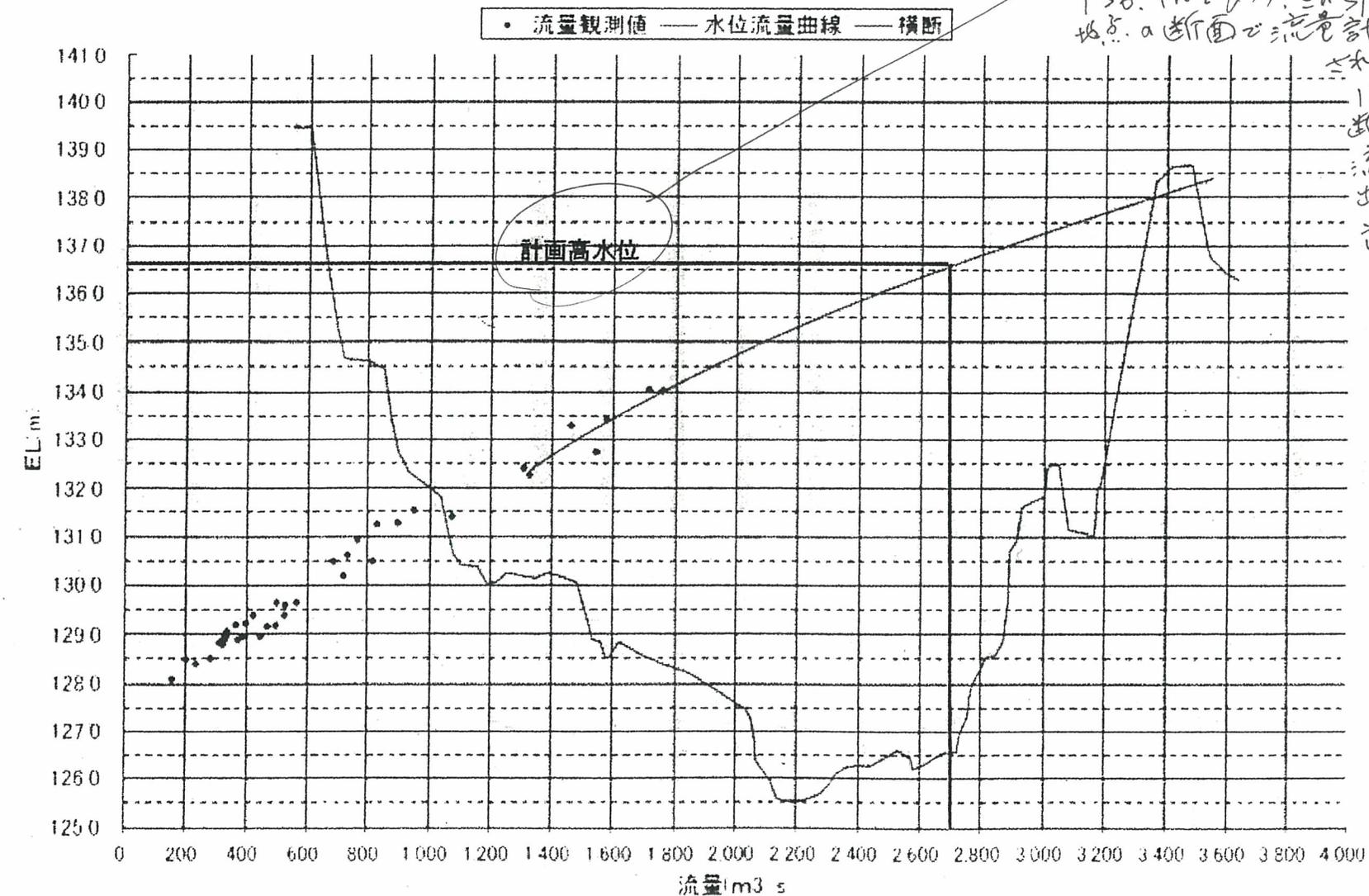
（4,068+81=4,149）完全に、岩倉峡入口に到達した最大流量は、きっちり島ヶ原へ到達している。意見書No.598では、3,967 m<sup>3</sup>/sと推量していたが、4,068 m<sup>3</sup>/sという数値が、木津川上流河川事務所?から出されたのである。『氾濫するものはさせての到達量であるか

ら、これまで言ってきた堤防天端—余裕高での計算であろうと思うが、その辺の明細は判らない。』

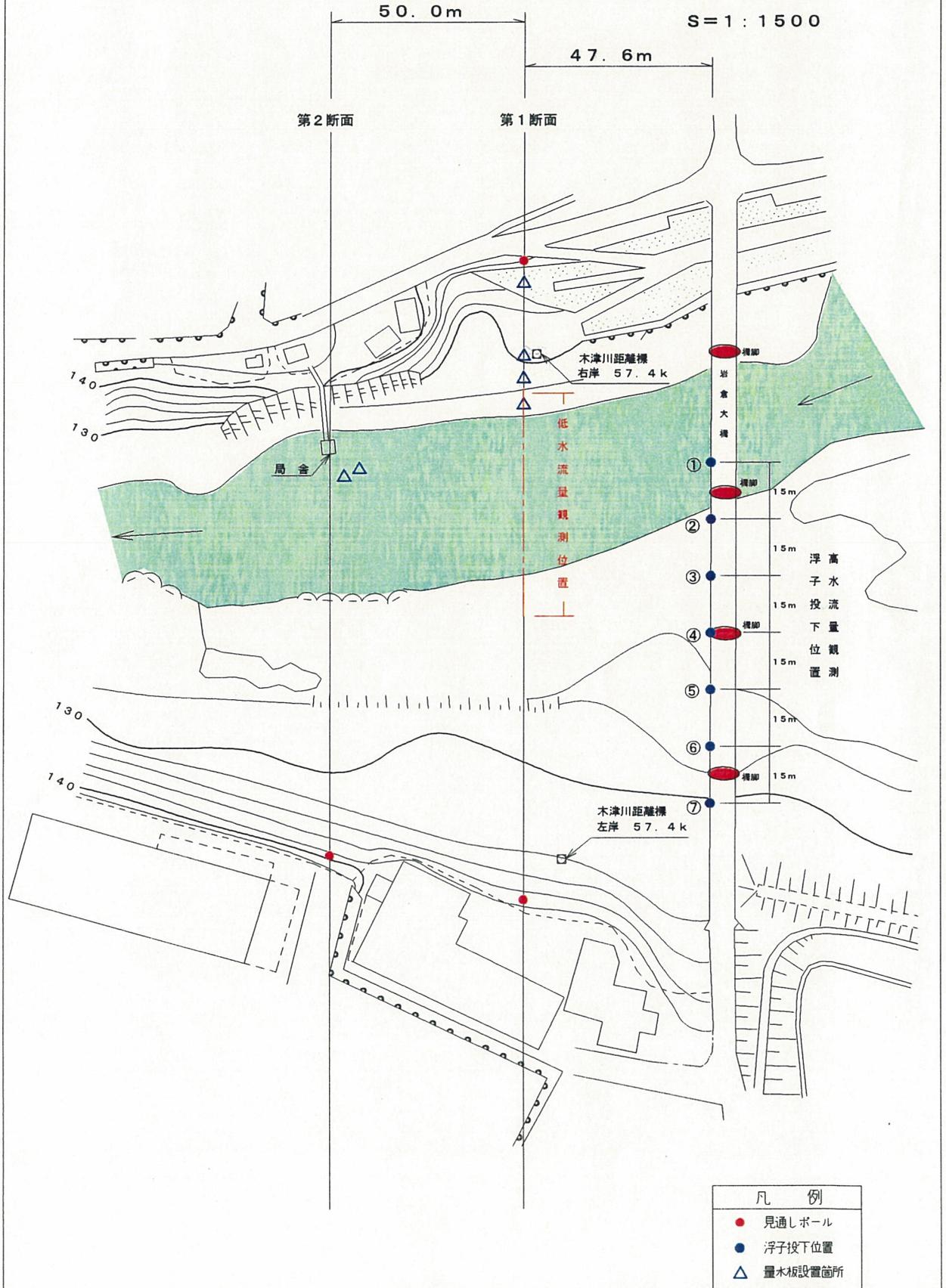
岩倉峡疎通量  $4.068 \text{ m}^3/\text{s}$  を認めるべきである。この流下能力で、場合によっては、上野遊水地さえも不要であったと言える。

# 右后地点 (57.4km) の水位流量曲線図

岩倉 (57.4km) 地点水位流量曲線図

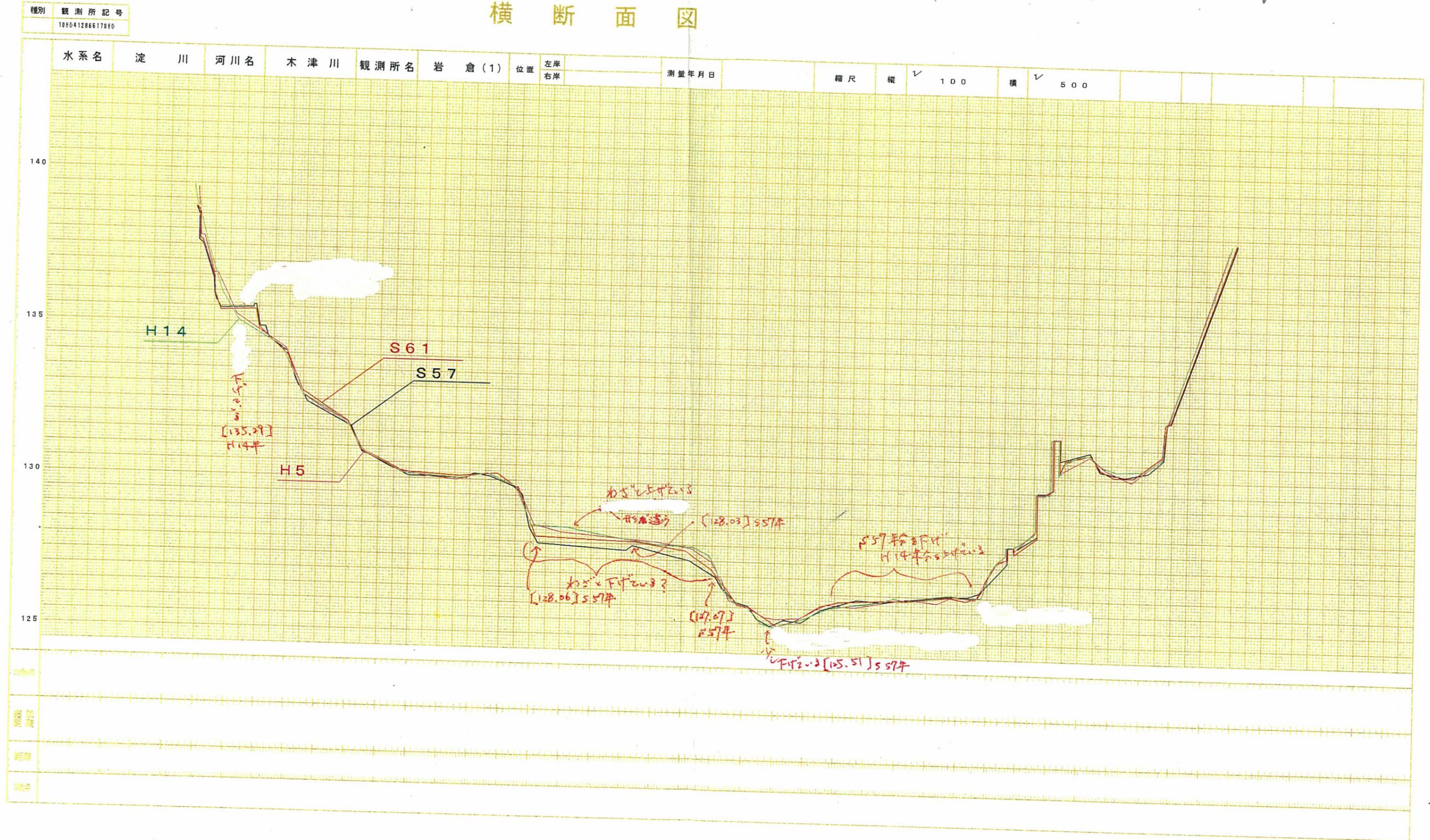


# <参考資料 A-2>



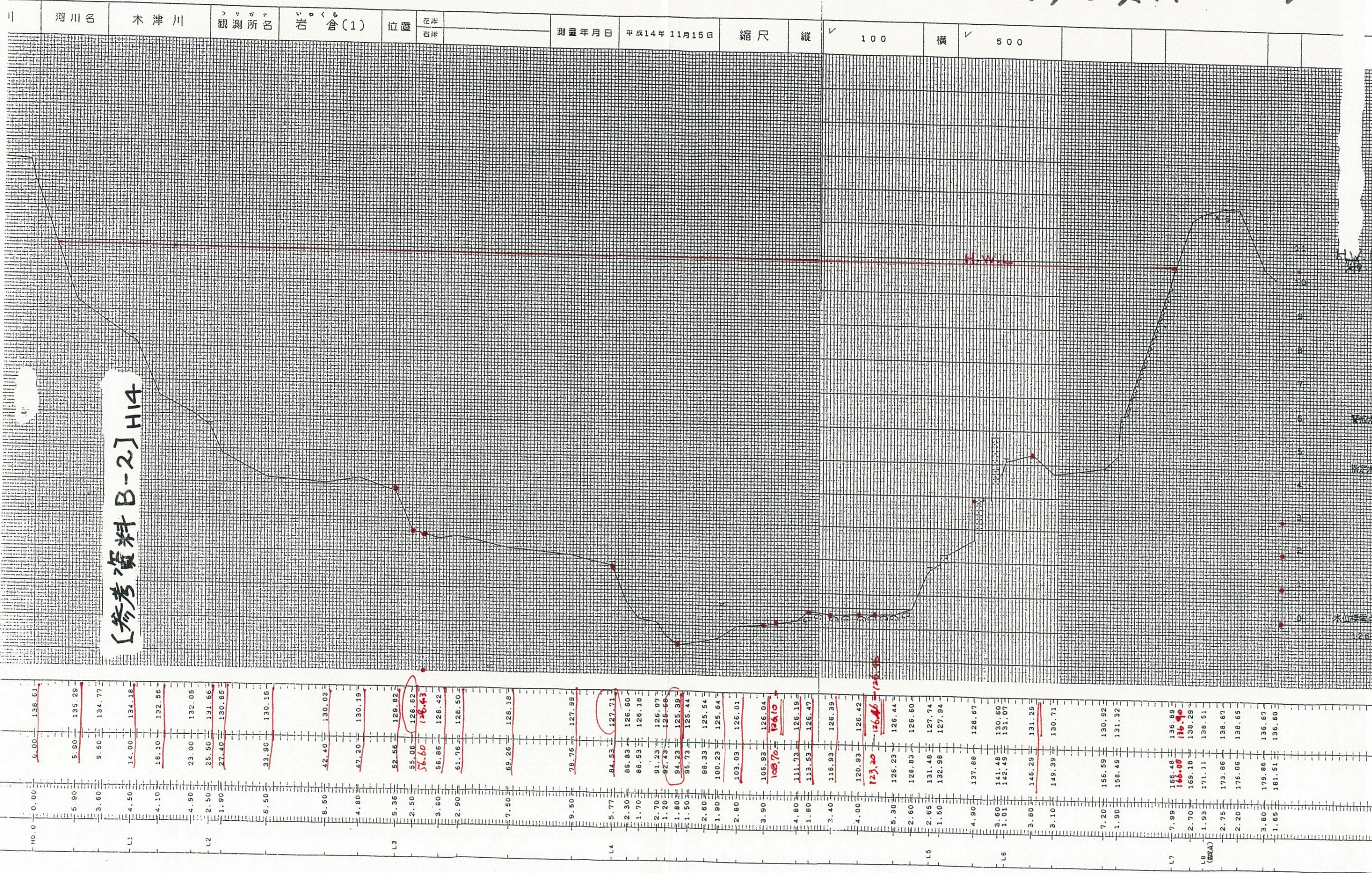
〈参考資料 B〉  
 「岩倉第1断面重ね合せ図」

横断面図



# 横断面図

<参考資料 B-2>

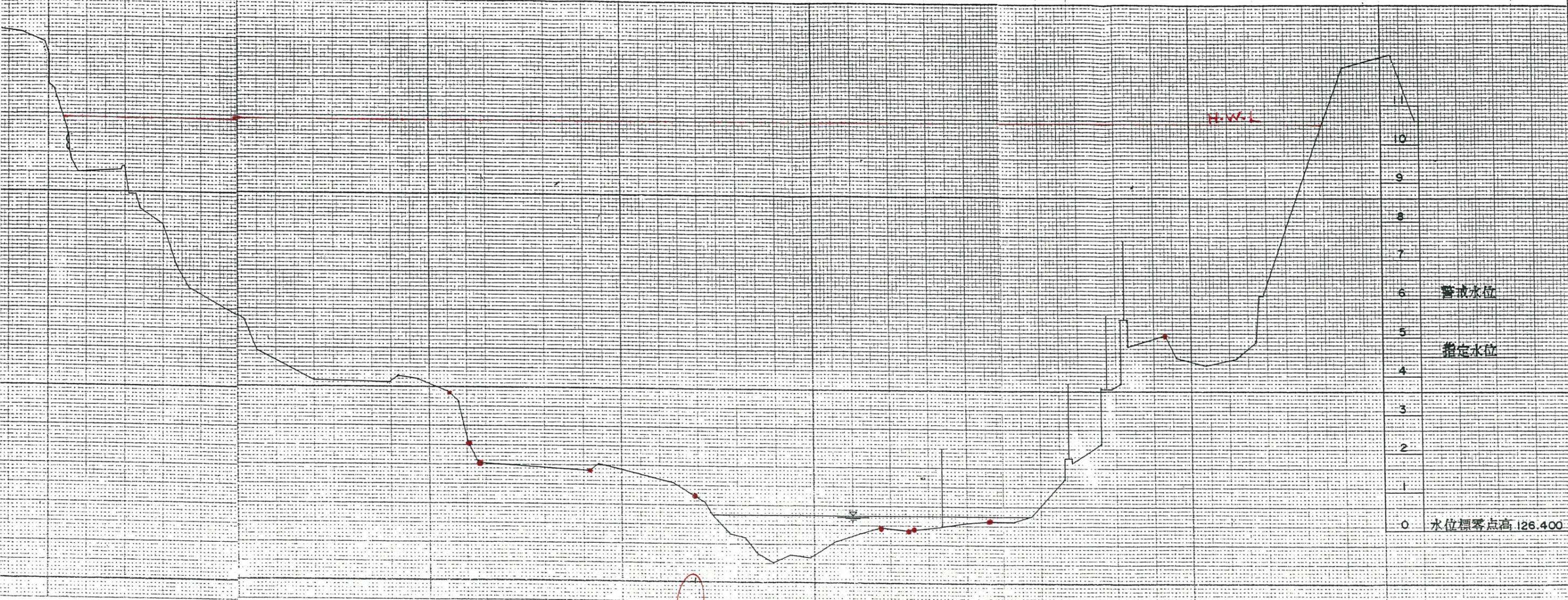


面 図

横 断 面 図

677 自然愛・環境問題研究所 総括研究員 浅野隆彦氏

川 河 川 木 津 川 観 測 所 岩 倉 (I) 位置 左岸 右岸 測量年月日 昭和 年 月 日 縮尺 縦 横 位置 左岸 右岸 測量年月日 昭和 57 年 6 月 5 日 縮尺 縦 100 横 500



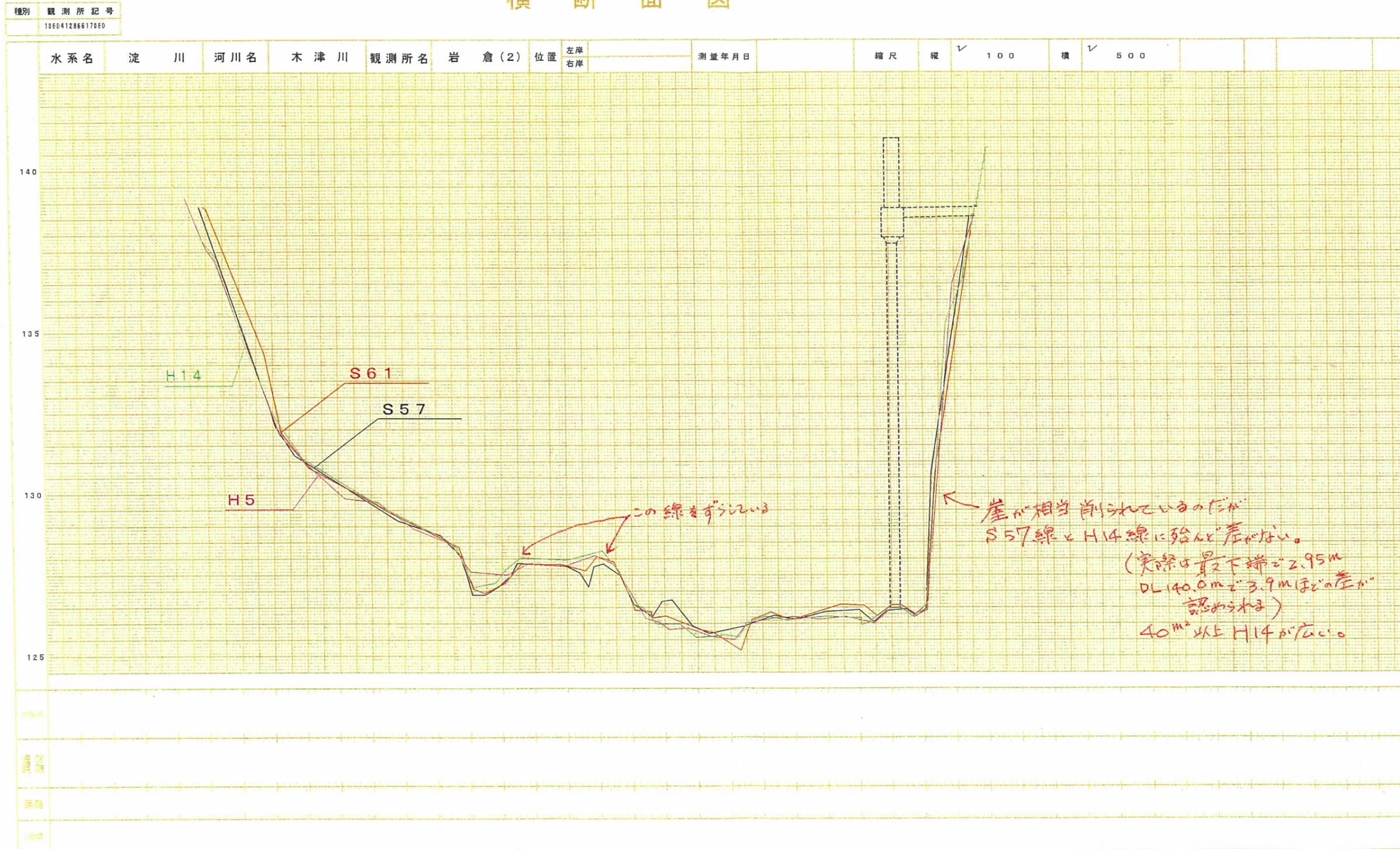
|      |       |        |      |       |        |      |        |        |       |        |        |       |        |        |       |        |        |       |        |        |       |        |        |
|------|-------|--------|------|-------|--------|------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 1.40 | -5.00 | 139.15 | 7.30 | 25.90 | 131.71 | 9.70 | 81.70  | 127.58 | 13.50 | 123.20 | 126.61 | 15.90 | 146.50 | 131.47 | 18.30 | 166.70 | 136.61 | 20.70 | 176.40 | 138.70 | 23.10 | 179.60 | 137.01 |
| 3.10 | -3.60 | 139.10 | 1.50 | 27.40 | 130.92 | 4.20 | 84.53  | 127.05 | 16.30 | 126.50 | 126.60 | 17.80 | 148.00 | 130.88 | 19.30 | 155.80 | 130.83 | 21.80 | 158.50 | 131.28 | 23.30 | 179.60 | 137.01 |
| 0.50 | 0.50  | 138.85 | 7.70 | 35.10 | 130.14 | 4.20 | 86.90  | 126.96 | 18.40 | 126.50 | 126.60 | 19.30 | 159.60 | 130.04 | 20.80 | 159.50 | 132.49 | 22.80 | 176.40 | 138.70 | 24.80 | 179.60 | 137.01 |
| 0.00 | 0.00  | 139.50 | 9.60 | 44.70 | 130.10 | 2.20 | 89.10  | 126.24 | 20.40 | 126.50 | 126.60 | 21.30 | 140.70 | 130.19 | 22.30 | 158.50 | 131.28 | 24.80 | 176.40 | 138.70 | 26.80 | 179.60 | 137.01 |
| 0.80 | 0.80  | 137.62 | 1.00 | 45.70 | 130.25 | 1.90 | 91.00  | 126.14 | 22.40 | 126.50 | 126.60 | 22.30 | 141.70 | 131.84 | 23.30 | 158.50 | 132.49 | 25.80 | 176.40 | 138.70 | 27.80 | 179.60 | 137.01 |
| 1.80 | 2.60  | 136.43 | 2.80 | 48.50 | 130.20 | 1.70 | 92.70  | 125.74 | 24.40 | 126.50 | 126.60 | 24.30 | 146.50 | 131.47 | 25.30 | 158.50 | 132.49 | 27.80 | 176.40 | 138.70 | 29.80 | 179.60 | 137.01 |
| 0.40 | 3.00  | 135.82 | 4.20 | 52.70 | 129.85 | 1.90 | 94.60  | 125.51 | 26.40 | 126.50 | 126.60 | 26.30 | 148.00 | 130.88 | 27.30 | 158.50 | 132.49 | 29.80 | 176.40 | 138.70 | 31.80 | 179.60 | 137.01 |
| 0.90 | 3.90  | 135.50 | 1.10 | 53.80 | 129.60 | 2.30 | 96.90  | 125.71 | 28.40 | 126.50 | 126.60 | 28.30 | 151.90 | 130.68 | 29.30 | 158.50 | 132.49 | 31.80 | 176.40 | 138.70 | 33.80 | 179.60 | 137.01 |
| 3.70 | 8.60  | 135.55 | 1.40 | 56.60 | 128.06 | 2.60 | 99.50  | 125.66 | 30.40 | 126.50 | 126.60 | 30.30 | 155.80 | 130.83 | 31.30 | 158.50 | 132.49 | 33.80 | 176.40 | 138.70 | 35.80 | 179.60 | 137.01 |
| 0.70 | 10.40 | 134.93 | 4.20 | 70.80 | 127.87 | 3.00 | 102.50 | 126.02 | 32.40 | 126.50 | 126.60 | 32.30 | 159.60 | 130.04 | 33.30 | 158.50 | 132.49 | 35.80 | 176.40 | 138.70 | 37.80 | 179.60 | 137.01 |
| 0.60 | 12.00 | 134.57 | 1.20 | 72.00 | 128.03 | 3.00 | 105.50 | 126.27 | 34.40 | 126.50 | 126.60 | 34.30 | 166.70 | 136.61 | 35.30 | 158.50 | 132.49 | 37.80 | 176.40 | 138.70 | 39.80 | 179.60 | 137.01 |
| 3.00 | 15.00 | 134.18 | 9.70 | 81.70 | 127.58 | 3.20 | 108.70 | 126.44 | 36.40 | 126.50 | 126.60 | 36.30 | 176.40 | 138.70 | 37.30 | 158.50 | 132.49 | 39.80 | 176.40 | 138.70 | 41.80 | 179.60 | 137.01 |
| 1.90 | 16.90 | 133.12 | 4.20 | 86.90 | 126.96 | 3.60 | 112.30 | 126.38 | 38.40 | 126.50 | 126.60 | 38.30 | 186.70 | 138.70 | 39.30 | 158.50 | 132.49 | 41.80 | 176.40 | 138.70 | 43.80 | 179.60 | 137.01 |
| 1.70 | 18.60 | 132.51 | 2.20 | 89.10 | 126.24 | 4.40 | 116.80 | 126.44 | 40.40 | 126.50 | 126.60 | 40.30 | 196.70 | 138.70 | 41.30 | 158.50 | 132.49 | 43.80 | 176.40 | 138.70 | 45.80 | 179.60 | 137.01 |
| 7.30 | 25.90 | 131.71 | 1.90 | 91.00 | 126.14 | 2.90 | 119.70 | 126.55 | 42.40 | 126.50 | 126.60 | 42.30 | 206.70 | 138.70 | 43.30 | 158.50 | 132.49 | 45.80 | 176.40 | 138.70 | 47.80 | 179.60 | 137.01 |

水研様式 流断-14

水研様式 流断-14

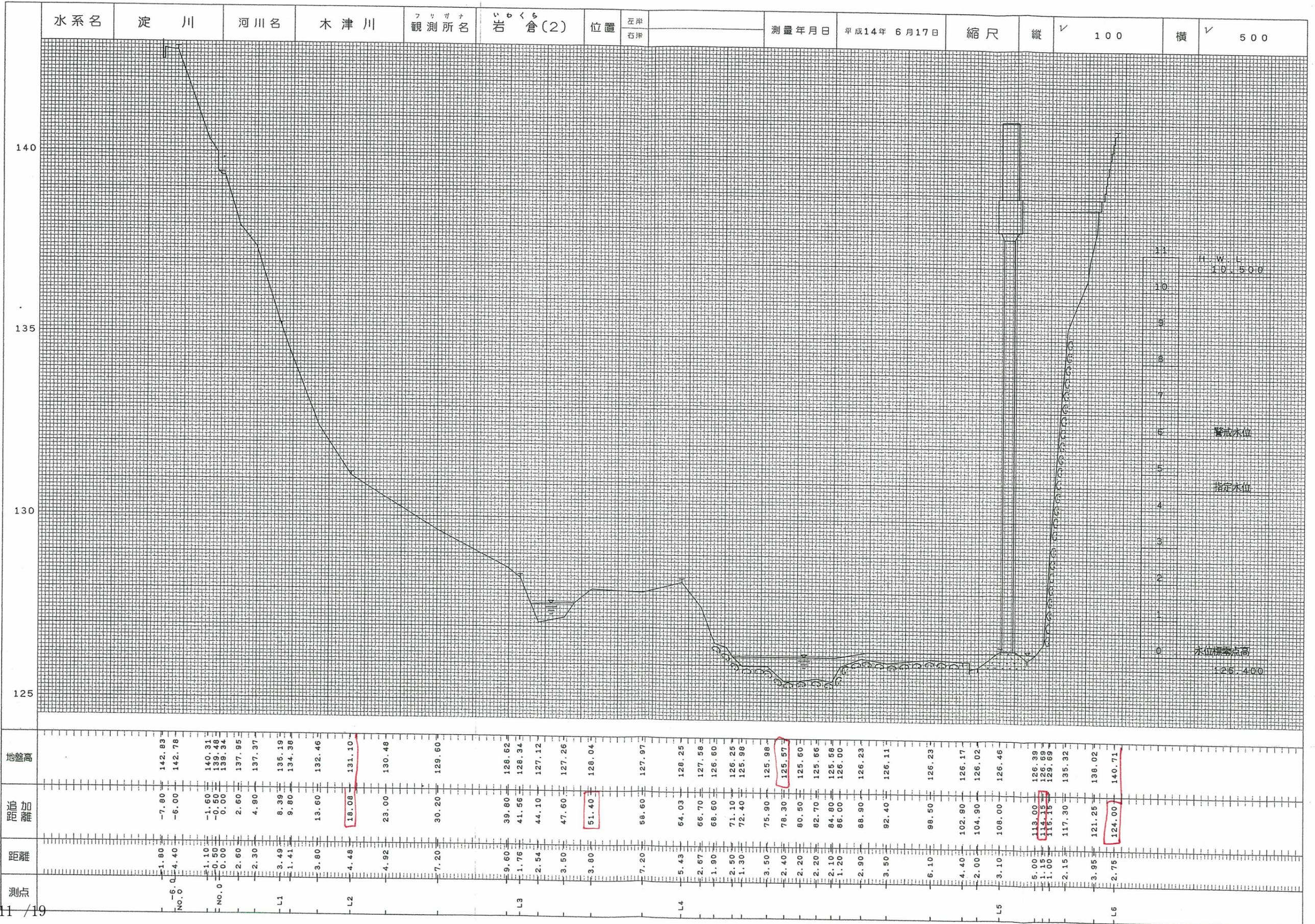
〈参考資料 C〉  
 「岩倉 第2断面 重ね合せ図」

横断面図



横断面図

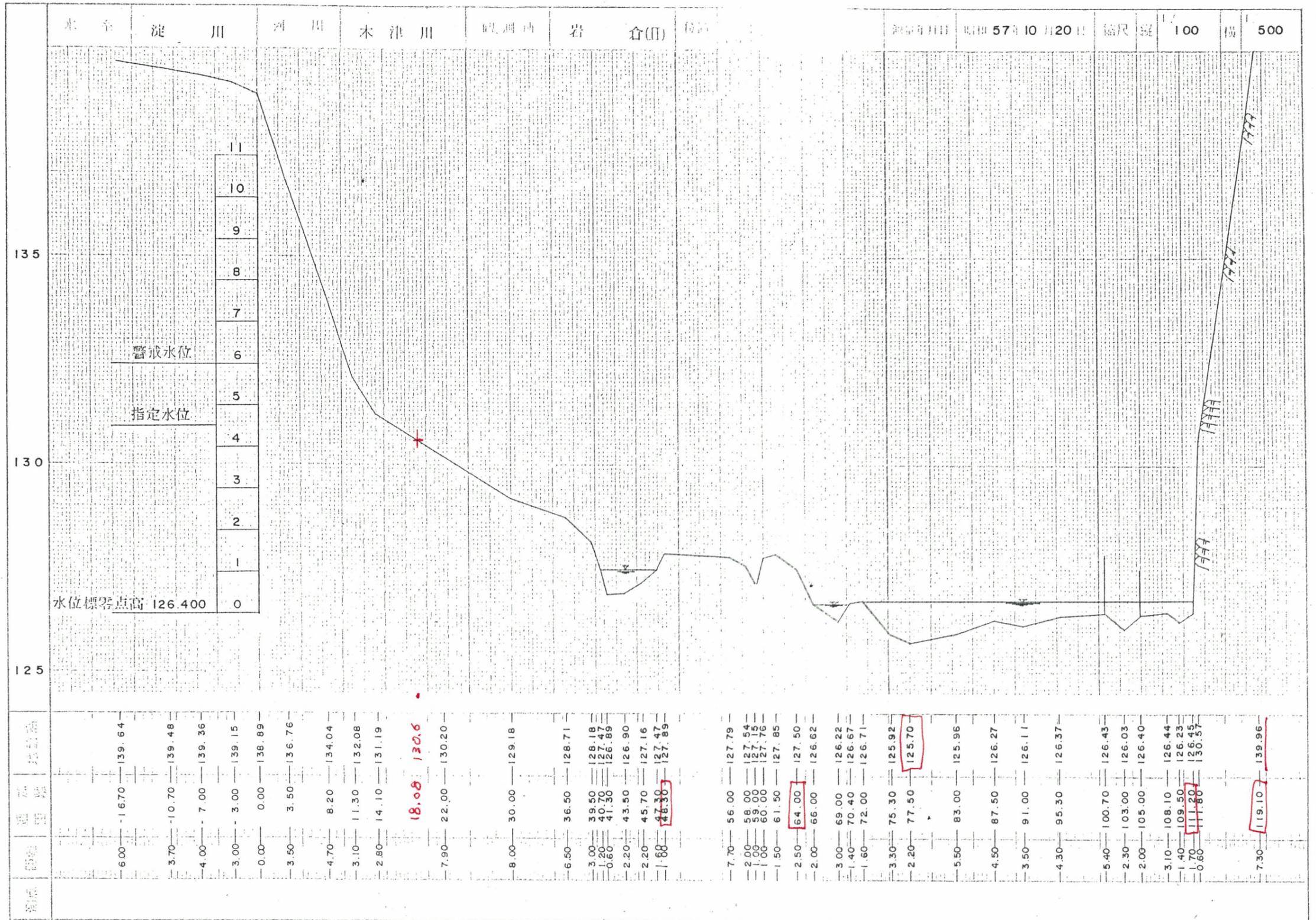
| 種別 | 観測所記号         |
|----|---------------|
|    | 1362160473060 |



60453

横 断 面 図

< 参考資料 C-3 >



水研様式 流量-14

1, 昭和57年

| 標高H (T. P. m) | 断面積A (m <sup>2</sup> ) | 累加断面積A (m <sup>2</sup> ) |
|---------------|------------------------|--------------------------|
| 126.400       | 11.34                  | 11.34                    |
| 127.400       | 43.04                  | 54.38                    |
| 128.400       | 67.01                  | 121.39                   |
| 129.400       | 83.58                  | 204.97                   |
| 130.400       | 92.65                  | 297.62                   |
| 131.400       | 120.50                 | 418.12                   |
| 132.400       | 135.35                 | 553.47                   |
| 133.400       | 143.40                 | 696.87                   |
| 134.400       | 147.45                 | 844.32                   |
| 135.400       | 153.27                 | 997.59                   |
| 136.400       | 162.53                 | 1160.12                  |
| 136.590       | 31.26                  | 1191.38                  |
| 137.400       | 134.65                 | 1326.03                  |

3, 平成5年

| 標高H (T. P. m) | 断面積A (m <sup>2</sup> ) | 累加断面積A (m <sup>2</sup> ) |
|---------------|------------------------|--------------------------|
| 126.400       | 11.43                  | 11.43                    |
| 127.400       | 42.42                  | 53.85                    |
| 128.400       | 55.74                  | 109.59                   |
| 129.400       | 82.46                  | 192.05                   |
| 130.400       | 92.33                  | 284.38                   |
| 131.400       | 121.51                 | 405.89                   |
| 132.400       | 134.64                 | 540.53                   |
| 133.400       | 142.65                 | 683.18                   |
| 134.400       | 146.73                 | 829.91                   |
| 135.400       | 154.43                 | 984.34                   |
| 136.400       | 160.42                 | 1144.76                  |
| 136.590       | 30.95                  | 1175.71                  |
| 137.400       | 133.78                 | 1309.49                  |

2, 昭和61年

| 標高H (T. P. m) | 断面積A (m <sup>2</sup> ) | 累加断面積A (m <sup>2</sup> ) |
|---------------|------------------------|--------------------------|
| 126.400       | 10.38                  | 10.38                    |
| 127.400       | 42.73                  | 53.11                    |
| 128.400       | 60.47                  | 113.58                   |
| 129.400       | 83.57                  | 197.15                   |
| 130.400       | 91.27                  | 288.42                   |
| 131.400       | 120.34                 | 408.76                   |
| 132.400       | 134.55                 | 543.31                   |
| 133.400       | 142.86                 | 686.17                   |
| 134.400       | 147.50                 | 833.67                   |
| 135.400       | 153.51                 | 987.18                   |
| 136.400       | 162.79                 | 1149.97                  |
| 136.590       | 31.21                  | 1181.18                  |
| 137.400       | 134.49                 | 1315.67                  |

4, 平成14年

| 標高H (T. P. m) | 断面積A (m <sup>2</sup> ) | 累加断面積A (m <sup>2</sup> ) |
|---------------|------------------------|--------------------------|
| 126.400       | 12.54                  | 12.54                    |
| 127.400       | 42.18                  | 54.72                    |
| 128.400       | 54.43                  | 109.15                   |
| 129.400       | 82.16                  | 191.31                   |
| 130.400       | 91.98                  | 283.29                   |
| 131.400       | 119.14                 | 402.43                   |
| 132.400       | 134.51                 | 536.94                   |
| 133.400       | 142.63                 | 679.57                   |
| 134.400       | 147.05                 | 826.62                   |
| 135.400       | 155.04                 | 981.66                   |
| 136.400       | 160.96                 | 1142.62                  |
| 136.590       | 31.01                  | 1173.63                  |
| 137.400       | 133.55                 | 1307.18                  |

1, 昭和57年

| 標高H (T. P. m) | 断面積A (m <sup>2</sup> ) | 累加断面積A (m <sup>2</sup> ) |
|---------------|------------------------|--------------------------|
| 126.400       | 8.63                   | 8.63                     |
| 127.400       | 46.93                  | 55.56                    |
| 128.400       | 66.17                  | 121.73                   |
| 129.400       | 78.05                  | 199.78                   |
| 130.400       | 87.60                  | 287.38                   |
| 131.400       | 95.67                  | 383.05                   |
| 132.400       | 101.14                 | 484.19                   |
| 133.400       | 104.00                 | 588.19                   |
| 134.400       | 106.45                 | 694.64                   |
| 135.400       | 108.90                 | 803.54                   |
| 136.350       | 105.73                 | 909.27                   |
| 136.400       | 5.63                   | 914.90                   |
| 137.400       | 113.81                 | 1028.71                  |

2, 昭和61年

| 標高H (T. P. m) | 断面積A (m <sup>2</sup> ) | 累加断面積A (m <sup>2</sup> ) |
|---------------|------------------------|--------------------------|
| 126.400       | 10.93                  | 10.93                    |
| 127.400       | 46.26                  | 57.19                    |
| 128.400       | 64.67                  | 121.86                   |
| 129.400       | 78.14                  | 200.00                   |
| 130.400       | 87.79                  | 287.79                   |
| 131.400       | 96.48                  | 384.27                   |
| 132.400       | 101.23                 | 485.50                   |
| 133.400       | 103.43                 | 588.93                   |
| 134.400       | 105.25                 | 694.18                   |
| 135.400       | 107.57                 | 801.75                   |
| 136.350       | 104.69                 | 906.44                   |
| 136.400       | 5.58                   | 912.02                   |
| 137.400       | 112.97                 | 1024.99                  |

3, 平成5年

| 標高H (T. P. m) | 断面積A (m <sup>2</sup> ) | 累加断面積A (m <sup>2</sup> ) |
|---------------|------------------------|--------------------------|
| 126.400       | 15.45                  | 15.45                    |
| 127.400       | 45.57                  | 61.02                    |
| 128.400       | 63.41                  | 124.43                   |
| 129.400       | 79.03                  | 203.46                   |
| 130.400       | 89.24                  | 292.70                   |
| 131.400       | 96.96                  | 389.66                   |
| 132.400       | 101.62                 | 491.28                   |
| 133.400       | 104.12                 | 595.40                   |
| 134.400       | 106.34                 | 701.74                   |
| 135.400       | 108.56                 | 810.30                   |
| 136.350       | 105.19                 | 915.49                   |
| 136.400       | 5.59                   | 921.08                   |
| 137.400       | 113.51                 | 1034.59                  |

4, 平成14年

| 標高H (T. P. m) | 断面積A (m <sup>2</sup> ) | 累加断面積A (m <sup>2</sup> ) |
|---------------|------------------------|--------------------------|
| 126.400       | 14.50                  | 14.50                    |
| 127.400       | 46.51                  | 61.01                    |
| 128.400       | 61.29                  | 122.30                   |
| 129.400       | 77.91                  | 200.21                   |
| 130.400       | 87.45                  | 287.66                   |
| 131.400       | 95.74                  | 383.40                   |
| 132.400       | 100.55                 | 483.95                   |
| 133.400       | 103.64                 | 587.59                   |
| 134.400       | 106.01                 | 693.60                   |
| 135.400       | 108.25                 | 801.85                   |
| 136.350       | 105.54                 | 907.39                   |
| 136.400       | 5.64                   | 913.03                   |
| 137.400       | 114.40                 | 1027.43                  |

←+→  
実際は信用できない

\*第2断面の零点高+10.5=136.9は管理上の値であり、整備計画上は使用していません。

\*整備計画上のHWLについては下記の通り求めています。

\*第2断面の計画高水位については、57.4kHWLと57.2kHWLとの差を区間距離で割り、57.2kから量水標までの距離をかけて得た数値を、57.2kのHWLに足して求めています。

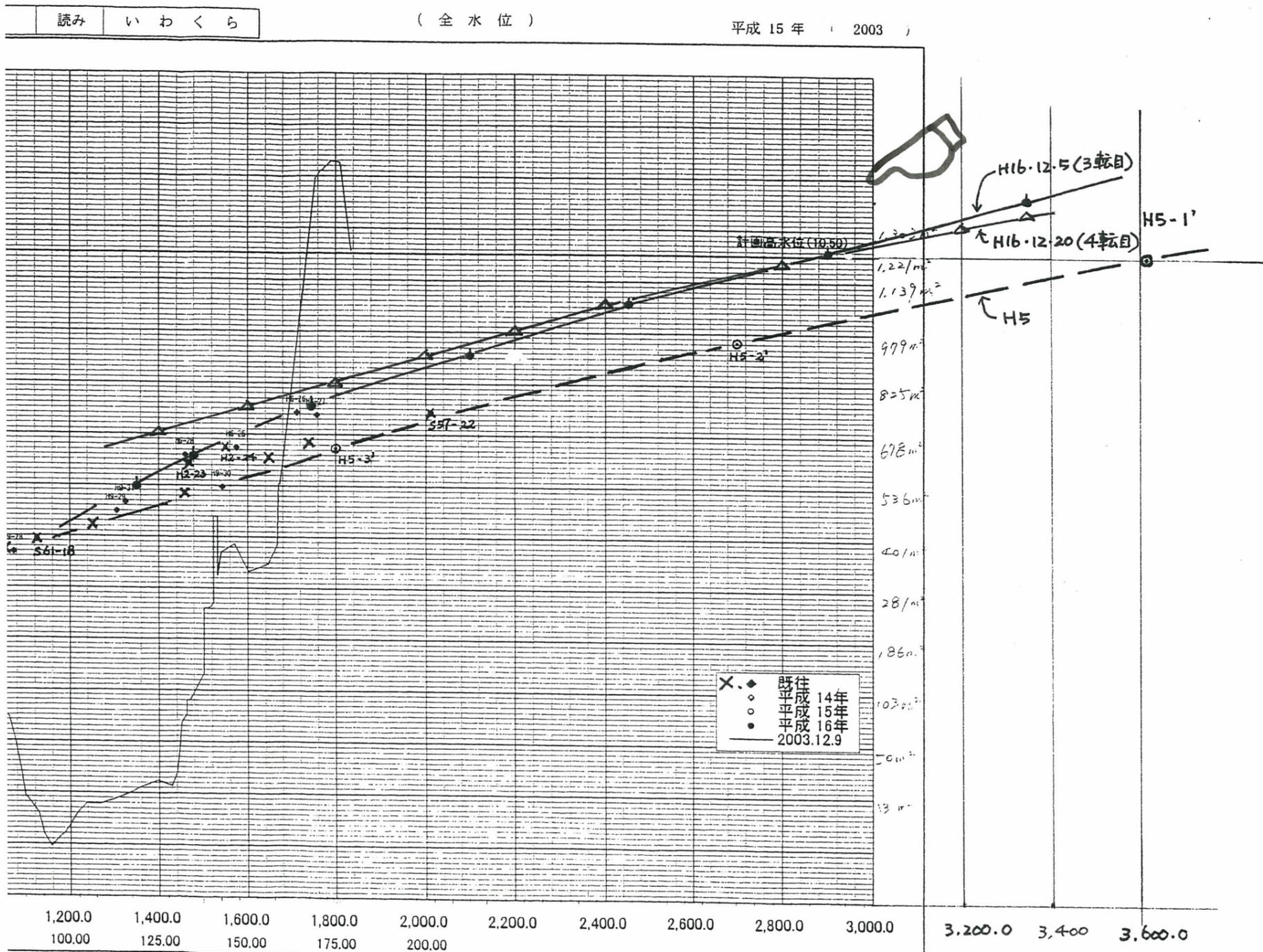
$$(136.59 - 135.85) \div 191.4 * 128.3 = 0.496$$

$$135.85 + 0.496 = 136.346 \div 136.350$$

第2断面HWL=136.350



水位流量曲線図



・12.20 版の 2 つの曲線共、観測実績値とひどく乖離し不自然であり、H5 の曲線が目で見える。(浅野)  
 で平均河床が約 2.5m 下るので、疎通量増大は現況高水位でもって 136 m<sup>3</sup>/s 以上となる。(浅野試算)



平成17年11月 1日

自然愛・環境問題研究所  
総括研究員 浅野 隆彦 様

平素は、お世話になります。 10月27日のこと。  
先日お電話にて、資料請求をいただいております、「H-Aテーブル表（1mピッチ）」及び「重ね合わせ図」を送付いたします。  
なお、同日ご依頼の「川上ダム計画時の検討内容資料」については、  
本局資料となり現在整理、調整中のためもう少しお時間をいただくよう  
よろしくお願い致します。

木津川上流河川事務所 調査課  
橋本 晋一

TEL : 0595-63-1611 FAX : 0595-64-1238  
mailto : hshimoto-s86ti@kkcr.mlit.go.jp

前略

昭和46年に改訂された「淀川水系工事实施基本計画」中に、木津川上流 川上ダム建設予定地々点の基本高水量 $1,100\text{m}^3/\text{s}$ を設定し、検討内容を知らないので、資料のコピー送付方をお願い申します。

「河川砂防技術基準」(案)に基づいて基本高水の決定がされたかのように聞いておりますが、その手続きとどうか手順での検討内容に関する「対象降雨の降雨データ(ハイドログラフ誌)、適当な洪水流出モデルを用いた「洪水氾濫計算書」、そして「ハイドログラフ」、降雨引伸率の検討書に当るもの、「カバー率の検討書に当るもの」などが含まれる資料を求めるものです。

以上

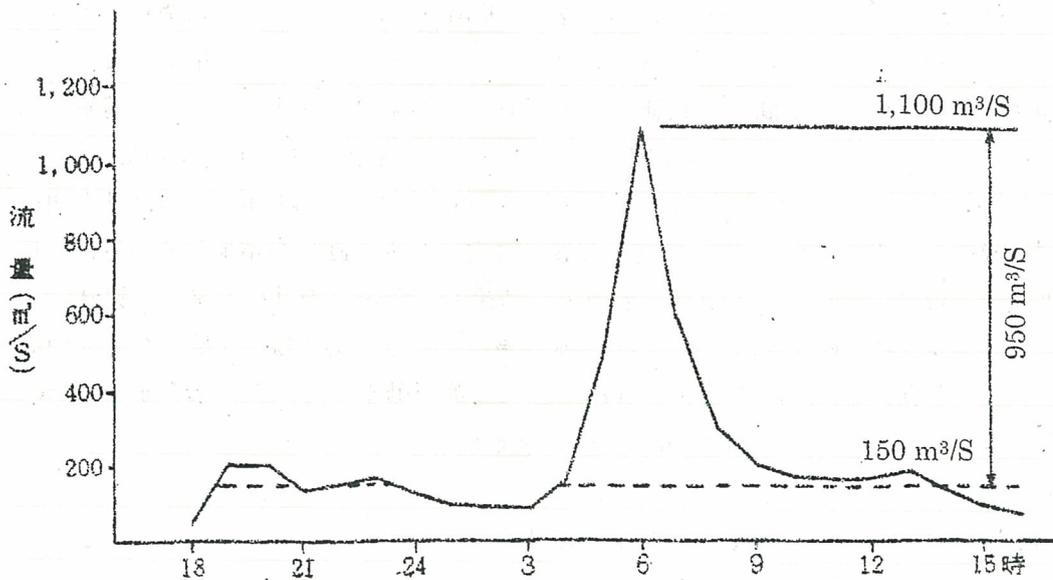
自然愛・環境問題研究所

総括研究員

浅野隆彦

TEL & FAX 0743-92-0206

No. 15 図 洪水調節図(川上ダム地点)



8月25日

昭和33年17号台風

どんな引きのぼし?

●川内川工事事務所長 (P30)

河川整備基本方針の考え方なんです、従来の基本高水については、従来の工  
実の数字をそのまま簡単に踏襲できるという状況ではないというのがわかってい  
る中で、どう処理していくかというところが今後の議論だと思います。

### 天井知らずの工事実施基本計画 (基本高水 流量)

●専門家 (同会議講演での発言)

皆さんが整備計画をつくろうとしたら、基本方針を立てるときに、恐らく一番  
困っていることはデータの信頼度だと思います。今までは天井知らずの「工実  
施基本計画」という、幾らでも大きいものを考えて、いつできるかわからないか  
ら、計画だからいいやと。工事のできるところからやって、何とかそこに行こう  
としてきた。そういうことですから、ある面では真剣さに欠けてきた。

「計画流量」は、本当はそんなに要らないが、考  
えておかなければダメだということになっている

●専門家 (同会議講演での発言)

日本で幾つかある大きな川、人口がたくさんある川の中で、私が関わっている  
川で非常に危険な川が3つある。1つは浅川、もう1つは白川、白川は流域を考  
えたときに、阿蘇の浸透性が非常に高いから流出率は非常に小さくなっている  
が、雨の降り方で今の流出率で本当にいいのか大いに検討すべきだ。もう1つは  
豊平川という札幌を流れている川でこれも非常に怖い川です。急流河川で土砂が  
ものすごく流れてきて暴れ川です。

浅川は、計画流量規模が1,800トン。どう考えても1,800トンを流すためには人

<http://kawabedam.hp.infoseek.co.jp/debate/debate05/text5/text5-2-...> 2004/09/25

### ガンの治療法をご存じですか?

米軍 ザルカイ派狙い空爆  
落下目撃主を支える妻の細腕  
"のむ中絶薬"ネットで横行

川辺川ダムを考える住民協議会.HP  
'04.09.25

下記資料をPDFでも公開 PDF(1/1)

## 国交省出先機関責任者が語 る 「治水」と「ダム」の本音

日本共産党小沢和秋衆議院議員事務所提供『九州地方整備局 平成12年度河川整  
備検討会「今後の河川整備の進め方」』会議速記録等より作成

この会議は、国土交通省九州地方整備局 (当時は建設省) が2000年8月、河川法  
改正に伴う河川整備基本方針及び河川整備計画づくりに向け、河川やダムに関係  
する管内の事務所長と整備局の責任者らが出席し意見交換を行ったものです。以  
下、発言の一部を紹介します。

### 今後の河川整備は掘削しかございません

●整備局専門官 (P12) ※ (P) は会議速記録のページ

九州20河川を眺めてみますと、今後、整備のメニューと申しますのは、川の  
中の掘削残しかございません。堤防の整備は非常に進んでおりまし  
て.....

基本高水は従来の数字をそのまま簡単に踏襲できる  
状況ではない

<http://kawabedam.hp.infoseek.co.jp/debate/debate05/text5/text5-2-...> 2004/09/25